



国際シンポジウム INTERPRAEVENT2018 ～変動帯における大規模な土砂災害と減災対策～



環太平洋インタープリベント協議会
インタープリベント 2018 実行委員会

期 日: 平成 30 年 10 月 1 日(月)～4 日(木)
開催地: 富山県富山市(会場: 富山国際会議場)
主 催: インタープリベント 2018 実行委員会、環太平洋インタープリベント協議会
共 催: International Research Society INTERPRAEVENT、(公社)砂防学会、(一社)国際砂防協会
後 援: 国土交通省、富山県
協 賛: (一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会

目 的: 環太平洋地域では火山活動、地震に起因する変動帯特有の災害が多発している。これに加えて近年では、気候変動の影響による集中豪雨や大型台風によって大規模な土砂災害が頻発している。変動帯に暮らす人びとは、これらの土砂災害を緩和しつつ共存していかねばならず、このような地域で長年に亘り培われてきた災害軽減技術はまさに世界に残すべき人類遺産ともいえる。

特に、富山県は、災害軽減技術の結晶とも言える歴史的な施設が多数存在している地域であり、その歴史的成果を世界の技術者、研究者、行政関係者、教育関係者が土砂災害への関心を持つ一般市民とともに討議するとともに、技術の検証、開発、継承、国民への啓発、普及、災害リスク管理等の意義を積極的に世界に発信していくことが極めて重要である。富山県では、1858 年の大地震により数億 m³ の山体崩壊が河道を閉塞して天然ダムを形成し、その欠壊により流出した土砂が下流の富山平野に壊滅的な被害をもたらした。それ以降 110 年にわたりこれらの土砂を安定させる砂防工事が進められ、現在では安全で実り豊かな田園都市となっている。この富山平野において、2018 年 10 月に「インタープリベント 2018」を開催するものである。

テーマ: 変動帯における大規模な土砂災害と減災対策

開催規模: 国内外から 400 名程度

日 程:

	午 前	午 後	夜
平成 30 年 10 月 1 日(月)	受付	開会式、基調講演	歓迎会
10 月 2 日(火)	口頭発表	口頭発表、ポスターセッションコアタイム	
10 月 3 日(水)	現地視察研修	現地視察研修	
10 月 4 日(木)	口頭発表	パネルディスカッション、ポスターセッション コアタイム、閉会式	

参加費用:

登録日	一般	学生	同行者
平成 30 年 7 月 31 日まで (参加事前登録)	25,000 円	10,000 円	10,000 円
平成 30 年 8 月 1 日～9 月 15 日	30,000 円	12,000 円	12,000 円
平成 30 年 9 月 16 日以降	35,000 円	14,000 円	14,000 円
昼食代	1,000 円/日		

- 意見交換会(歓迎会)費 6,000円

- 現地視察研修会費 7,000円(昼食代含む)
- ※ 費用については今後変更の可能性があります
- ※ 参加費には宿泊費等は含まれていません
- ※ 別途、宿泊費がかかります



富山国際会議場

参加および宿泊等申し込み:

参加事前登録用ウェブサイトは平成30年1月に開設予定です。

参加申し込みは、インタープリメント 2018 ホームページ(<http://interprevent2018.jp>)から行ってください。一部のホテルは参加申し込みと同時に申し込みが可能です。

言語: 使用する言語は英語です(開会式及び基調講演は同時通訳を予定しています)。

基調講演: 日本を含む5~6カ国から、それぞれの国・地域における災害の特徴及び災害対策、防災研究の方向性、歴史的砂防施設の検証などについてご講演いただきます。

研究発表: 口頭セッションとポスターセッションに分けて研究発表を行います。

(口頭セッション): 発表内容によって各トピックスに区分され、口頭発表(15分)に各5分の質疑応答となります。

(ポスターセッション): 研究発表ポスターは、10月2日と4日に展示されます。両日の午後にコアタイムが設定されています。

行政展示: 防災関係機関による行政展示コーナーが会場内に設けられます。

パネルディスカッション: 極端な気象現象ならびに変動帯特有の火山・地震によって引き起こされた大規模な土砂災害と闘ってきた人間の技術、歴史的砂防施設及び歴史的な土地利用規制の評価と今後の活用に焦点を当て、災害の特徴や対策施設の計画、効果評価、長寿命化等について、参加各国の研究者等による総合的な議論を行います。

現地視察研修会: 現地視察研修には、次の5コースを予定しています。

1. 立山カルデラを中心に歴史的な砂防施設を視察するコース
2. 常願寺川流域の砂防施設や急流河川対策を視察するコース
3. 黒部川流域の砂防施設やダム、海岸域までを含めた総合土砂管理を視察するコース
4. 火山噴火に伴う土砂災害に対する神通川流域の砂防施設を視察するコース
5. 文化・観光コースとして随伴者等を対象として富山県内の世界遺産等を巡るコース
(各コースとも参加可能人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合がございます。)



重要文化財「白岩砂防堰堤



宇奈月ダム

世界文化遺産
「五箇山の合掌造り集落

トピックス: このシンポジウムの中心課題である「変動帯における大規模な土砂災害と減災対策」は、以下の6つのカテゴリーに大別されています。

1. 現地調査、解析、モデリング
2. 大規模災害
3. ハード対策とその効果
4. 歴史的砂防施設及び歴史的な土地利用規制の評価と今後の活用
5. 危機管理とソフト対策
6. 持続可能な土地利用のための管理

口頭発表・ポスター発表の論文提出等について:

- アブストラクトが受理された投稿者全員に、編集委員会からフルペーパーの執筆を依頼します。その際に、希望する発表形式(口頭発表、ポスター発表、どちらでも良い)を確認させていただきまので、インタープリメント2018 実行委員会事務局あて、2017年10月27日(金)までにご回答をメールでお願いします。ただし、編集委員会の選定により、ご希望どおりにならない場合もございます。
- 口頭発表するためには、フルペーパーを2017年12月31日までに実行委員会事務局に提出することが必須条件です。その後の査読により受理されること、編集委員会から選定されると、2018年7月31日までに参加費を支払うことが必要となります。編集委員会から口頭発表に選定されなかった場合は、ポスター発表を依頼させていただきます。
- ポスター発表するためには、必ずしもフルペーパーを提出いただく必要はありませんが、フルペーパーを提出されない方およびフルペーパーが受理されなかった方は2018年6月30日までにポスター原稿のファイル(シンポジウム発表時には、多少修正・変更されたポスターを使用することは可能です)を実行委員会事務局に提出すること、2018年7月31日までに参加費を支払うことが必要となります。
- フルペーパーを提出される場合は、2017年12月31日までに実行委員会事務局に提出ください。その後の査読により受理されたフルペーパーは、シンポジウムで配布されるCD-ROMに掲載されます。フルペーパーを提出されない場合でも、受理されたアブストラクトは、シンポジウムで配布されるCD-ROMに掲載され、インタープリメント2018実行委員会のホームページに掲載されます。
- 口頭発表ならびにポスター発表のアブストラクトは、印刷されてシンポジウム開催時に配布されます。
- インタープリメント2018実行委員会のホームページには、査読によって受理されたすべてのアブストラクトのタイトルと著者のリストが掲載されます。ただし、インタープリメント2018実行委員会のホームページは会議終了後、一定期間が過ぎますと閉じられますので、長期間閲覧することはできません。
- インタープリメント本部のホームページには、査読で受理され、2018年7月31日までに参加費を支払っていただいた方のフルペーパーのみ掲載されます(これが正式のプロシーディングになります)。アブストラクトやポスター原稿のファイルは掲載されません。

今後の予定:

今後の予定:本論文投稿の締切	平成29年12月31日
参加事前登録の開始	平成30年1月
最終本論文(修正後)の提出	平成30年4月30日
本論文の受理・不受理の通知	平成30年5月
ファイナルサーキュラーの発行	平成30年5月
本論文の採択の決定通知	平成30年5月
ポスター発表のPDFファイルの提出	平成30年6月30日
参加事前登録(事前割引)締切	平成30年7月31日
口頭及びポスター発表の採択の決定通知	平成30年8月初旬
ホテル予約の締切	平成30年7月31日

その他:本シンポジウムは CPD 単位の取得対象を予定しています。

実行委員会(敬称略)

委員長	石川 芳治	東京農工大学名誉教授、インタープリバント副会長、公益社団法人砂防学会理事
副委員長	丸谷 知己	北海道大学特任教授、公益社団法人砂防学会会長
委員	伊藤 和久	国土交通省北陸地方整備局河川部長
同	岡本 敦	国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部長
同	岡本 正男	一般社団法人全国治水砂防協会理事長、一般社団法人国際砂防協会理事長
同	加藤 昭悦	富山県土木部長
同	亀江 幸二	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構理事長
同	今井 一之	国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
同	近藤 浩一	一般社団法人斜面防災対策技術協会副会長、一般財団法人砂防・地すべり技術センター相談役
同	西井 洋史	国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ長
同	平松 晋也	信州大学教授、公益社団法人砂防学会理事・国際部会長
同	南 哲行	一般財団法人砂防・地すべり技術センター理事長、環太平洋インタープリバント協議会会長
同	山田 孝	北海道大学教授、公益社団法人砂防学会理事・編集部会長
監事	大野 宏之	一般財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事、インタープリバント理事、公益社団法人砂防学会理事・事業部会長
同	小川紀一朗	公益社団法人砂防学会副会長・経理部長

名誉顧問: 石井 隆一 富山県知事
顧問: 丸井 英明 新潟大学災害復興研究所名誉教授、インタープリバント名誉会員・前副会長

編集小委員長: 山田 孝(北海道大)

編集委員:	Catrin Promper(オーストリア)	Florian Rudolf-Miklau(オーストリア)
	Matjaz Mikos(スロヴェニア)	Niki Beyer Portner(スイス)
	今泉 文寿(静岡大)	内田 太郎(国総研)
	笠井 美青(北海道大)	倉本 和正(中電技術)
	五味 高志(東京農工大)	権田 豊(新潟大)
	嶋 丈示(STC)	執印 康裕(宇都宮大)
	高原 晃宙(国総研)	大丸 裕武(森林総研)
	竹林 洋史(京都大)	堤 大三(京都大)
	中谷 加奈(京都大)	水野 秀明(九州大)
	宮田 秀介(京都大)	

運営小委員長: 加藤 昭悦(富山県土木部長)

運営委員:	石崎 信夫(富山県砂防ボランティア協会会長)	石田 孝司(土木研究所雪崩・地すべり研究センター上席研究員)
	大坂 剛(国交省北陸地整立山砂防事務所長)	川田 孝信(立山・神通砂防スペシヤルエンジニア代表)
	榮 知之(富山県測量設計業協会会長)	城ヶ崎 正人(国交省砂防部地震・火山砂防室長)
	田中 幹夫(富山県治水砂防協会会長)	田中 洋一郎(斜面防災対策技術協会富山支部長)
	秩父 宏太郎(国交省北陸地整河川計画課長)	津嶋 春秋(富山県地質調査業協会会長)
	寺本 邦一(建設コンサルタンツ協会北陸支部長)	平松 晋也(砂防学会信越支部長)
	舟橋 貴之(全国治水砂防協会立山支部長)	古本 一司(国交省北陸地整黒部河川事務所長)
	森田 耕司(富山県土木部砂防課長)	

お問合せ先:

インタープリバント2018実行委員会事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
(一社)国際砂防協会内
電話: 03-6380-9044 FAX: 03-3261-5449
E-mail: info@interpraevent2018.jp
URL: <http://interpraevent2018.jp>



会場、現地視察研修についてのお問合せは…
運営小委員会事務局
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
富山県庁本館4階 土木部砂防課内
電話: 076-444-3341 FAX: 076-444-4420

※平成 29 年 9 月 30 日時点で作成しています
※記載内容は予告なく変更する場合があります